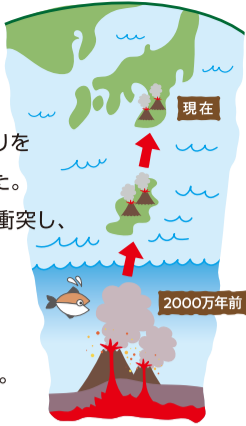


南の海からやってきた!

多くの旅人が訪れる伊豆半島。実はこの半島そのものも旅人なのです。南の海で誕生した海底火山は、噴火を繰り返しながら800kmを越える道のりを2000万年以上の年月をかけて旅してきました。約100万年前にはその行く手にあった本州と衝突し、現在の伊豆半島になりました。変化に富んだ地形や豊かな温泉、さまざまな文化といった伊豆の長い旅のお話を耳を傾けてみましょう。



伊豆半島の旅が教えてくれたこと

1 海底火山が何をしてくるか教えてくれる

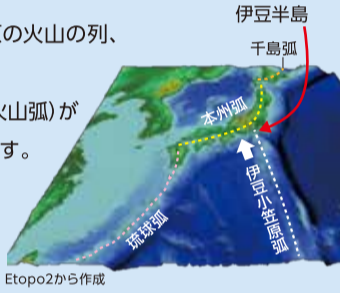
地球表面の70%を占める海。この広大な海の底をつくってきた海底火山を知ることは、地球全体の大地のなりたちや将来の姿を知ることもつながります。伊豆には海底火山の地層が広く分布しています。本州との衝突による隆起によって、本来は目にすることが難しい海底火山の姿を目のあたりにすることができるようになりました。海岸などに美しく露出する海底火山のなごりは世界の海底火山研究をけん引してきた場所でもあるのです。



この地図の青色のところはかつて海底だった大地です

2 火山の列どうしが衝突し続ける場所の姿を見られる

伊豆半島から南に延びる伊豆-小笠原の火山の列、本州を形作る火山の列、活火山を多く含むこの2つの火山の列(火山弧)がぶつかっているその場所が伊豆なのです。現在も続く衝突は伊豆半島の中にさまざまな地形を形作ってきました。



Etopo2から作成

伊豆の旅をもっと楽しく!もっと詳しく!

無料で配布『伊豆ジオMAP』

観光施設などで配布しています。本ドライブマップと一緒に見ると分かりやすいです。



ジオサイトにある『解説看板』

各ジオサイトには土地の成り立ちを詳しく解説する茶色い看板があります。ぜひチェックしてみてください!



『自転車』でジオサイトめぐり

伊豆各地にはレンタサイクル店があり、手軽に自転車の旅を楽しむことができます。<https://izugeopark.org/enjoy/cycling/>



『伊豆半島ジオパーク認定ガイド』

見過ごしてしまうようなありふれた景色に、なぜその景色になったかという背景があることを、分かりやすく案内してくれます。<ご依頼・お問い合わせ先>伊豆半島ジオガイド協会 Tel/Fax 0558-74-5423 <http://www.izugeoguide.org/>



伊豆半島ジオパークミュージアム

ジオリア
伊豆市修善寺838-1(修善寺総合会館内)
Tel.0558-72-0525
開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
休館日 水曜日(祝日の場合は翌平日)
入場無料 <https://georia.izugeopark.org/>



地域のジオパーク案内

- | | | |
|--|---|--|
| <p>1 ジオポート伊東
Tel.0557-37-1125</p> <p>1 東伊豆ビジターセンター
(熱川温泉観光協会内)
Tel.0557-23-1505</p> <p>1 河津七滝ビジターセンター
(河津七滝観光センター内)
Tel.0558-36-8263</p> <p>1 熱海ビジターセンター
(熱海観光案内所内)
Tel.0557-85-2222</p> | <p>2 ジオテラス伊東
(伊豆急行伊豆高原駅構内)
Tel.0557-52-6100</p> <p>1 伊豆の国ビジターセンター
(道の駅伊豆のへそ内)
Tel.0558-76-1630</p> <p>2 天城ビジターセンター
(道の駅天城越え・昭和の森会館内)
Tel.0558-85-1110</p> <p>2 函南ビジターセンター
(道の駅伊豆ゲートウェイ函南内)
Tel.055-979-1112</p> | <p>マップ面に場所掲載
2 はジオパーク案内可能スタッフ
常駐施設</p> |
|--|---|--|

地域の観光案内

- | | | |
|--|---|---|
| <p>● 伊東観光協会
Tel.0557-37-6105</p> <p>● 東伊豆町観光協会
Tel.0557-95-0700</p> <p>● 函南町観光協会
Tel.055-978-9191</p> | <p>● 伊豆市観光案内所
Tel.0558-99-9501</p> <p>● 河津町観光協会
Tel.0558-32-0290</p> <p>● 熱海市観光協会
Tel.0557-85-2222</p> | <p>● 伊豆の国市観光協会
Tel.055-948-0304</p> <p>● 下田市観光協会
Tel.0558-22-1531</p> <p>● 沼津観光協会
Tel.055-964-1300</p> |
|--|---|---|

発行元/伊豆半島ジオパーク推進協議会 Tel.0558-72-0520
伊豆市修善寺838-1(修善寺総合会館内) <https://izugeopark.org/>
2019年2月発行

東伊豆半島ドライブジオマップ



伊豆半島ジオパーク
このエリアをご案内



足元に広がる大地からいろいろなものが見えてくる



黒根岩風呂
海と回し目線で掛け流しの温泉を楽しむ。公営露天風呂。北川温泉観光協会 Tel.0557-23-3997

峰温泉大噴湯公園
9:30~15:30の間、1時間ごとに1分間噴湯を公開。100℃の源泉が30mの高さまで噴き上がります。火・金は休み、売店で買った卵で噴湯卵(ゆで卵)を作ることができます。Tel.0558-34-0311

わさび丼
ご飯の上にかつお節をのせ、そこに生わさびをおろして醤油をかけ、わさびの香りが売ります。Tel.0558-34-0311

わさび沢
天城の湧水は、わさび栽培には欠かせません。大量の水を流しながら、わさびを育てる「置石式」の栽培方法は「静岡式」の栽培方法です。水わさびの伝統栽培として世界農業遺産にも登録されています。

湧水の恵み わさびと温泉
天城山には、海から運ばれる温かい空気が集まり、たくさん雨になり、水を集まり、たかさんの雨になり、地下水になり、湧水として再び現れます。地下水の一部は地下深くまでしみこみ、温められて温泉にもなります。

鹿肉
伊豆市で増えすぎたシカが、農作物や森を食い荒らすことが問題となり、近年では捕獲し、公営の加工場「アスシカ肉屋」が処理・加工し、美味しく食べられるようになりました。

天城山隧道
天城の山を越えるために1905年に開通したトンネル。多くの人がこの道を訪れるようになり、「伊豆の踊子(川端康成)」などの作品の舞台にもなりました。国指定重要文化財。

浄運の滝
伊豆東部火山群の1つである鉢蓮山から流れた天城山の端を、天城山を水源とする川が流れる美しい柱状節理が見られます。

天城山からの水
天城山の一部で、浸食された山の一部、浸食場所を穿る小さな火山が100以上あり、噴火のたびに火口の相模灘にかけて、噴火のたびに火口の約15万年前から、伊豆半島東部から約400年前に火口が形成された。この美しい山の姿は、毎年2月に行われる山焼きによって保たれています。

大型火山 天城山
伊豆の最高峰をこえる天城山は、豊かな水を地域にもたらす恵みの山であり、伊豆の南北を隔てる交通の難所でもありました。

大室山
約4000年前に噴火しました。大室山からの溶岩でできた大地。伊豆高原。海岸植物。照葉樹林。溶岩が海に流れ込んだ。城ヶ崎海岸。大室山から流れた溶岩が相模灘に流れ込んだ。海岸。海岸沿いの遊歩道には展望台やつり橋が整備されています。

きれいなグリーン型
約400年前に火口が形成された。この美しい山の姿は、毎年2月に行われる山焼きによって保たれています。

大室山
約400年前に火口が形成された。この美しい山の姿は、毎年2月に行われる山焼きによって保たれています。

大室山
約400年前に火口が形成された。この美しい山の姿は、毎年2月に行われる山焼きによって保たれています。

活動を続ける新しい大地
約15万年前から、伊豆半島東部から相模灘にかけて、噴火のたびに火口の約15万年前から、伊豆半島東部から約400年前に火口が形成された。この美しい山の姿は、毎年2月に行われる山焼きによって保たれています。

東伊豆 新しい大地ができる場所 火山と温泉を楽しもう